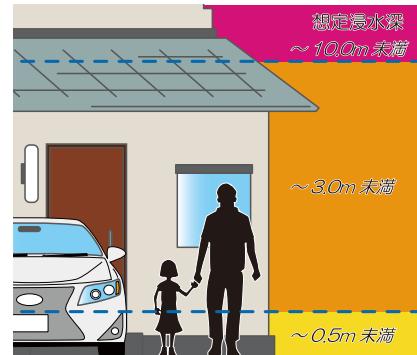


# ハザードマップの利用方法

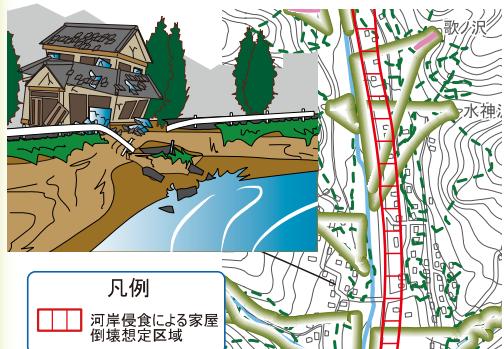
## マップの見方① 浸水深

ハザードマップでは、洪水による浸水範囲と浸水深を表示しています。水深の目安は右の図に示すとおりです。

マップを受け取ったら、自宅周辺の浸水深を確認し、安全な避難所を選定しておきましょう。



## マップの見方② 河岸侵食による家屋倒壊想定区域



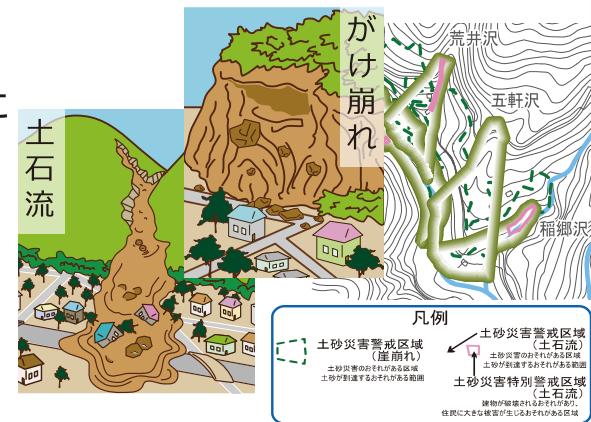
大雨・豪雨により、河川の水位が上昇、流れが激しくなると、河岸が削られ、土地が流失する『河岸侵食』が発生する可能性があります。

河岸侵食による家屋倒壊想定区域にお住まいの方は、災害時は家にとどまらず、特に早めの避難を行ってください。

## マップの見方③ 土砂災害警戒区域

土砂災害とは、大雨や地震などが原因で、水と土砂が流出(土石流)したり、がけが崩れたりする現象です。

土砂災害は急激な速度で発生するため、気づいてからの避難は困難です。土砂災害警戒区域内にお住まいの方は、特に早めの避難を行ってください。



## 自宅の安全性確認と避難ルートの検討



洪水時の浸水や河岸侵食、土砂災害を想定し、安全な避難所及び避難ルートをハザードマップに記入しましょう。また、記入した内容は家族で共有しましょう。